

項番	アジェンダ	分類	分類	発案者	概要	討議内容
2	議事録とる人	進行	0	吉田	副代表(国嘉)へ依頼	
3	校友会のベルソナを考える	全体	1	吉田	チャプターよりさらに踏み込んだ、ターゲットを設定	<ul style="list-style-type: none"> □校友会のベルソナ(各チャプターのリーダー/Subリーダー的な存在) ・国:出身地と現住所が違う ・年齢:25歳くらい ・キャリア:若手だけど、ある程度安定 →校友会に対して時間を割けられる(目安:3.5h/週 平日30min 週末1h) ・校友会に対して、やる気があるけど、知識がない <ul style="list-style-type: none"> □上記世代人材を育成する(知識を増やす)ために、校友会から提供している機会 ・オンライン総会 ・OLガイダンス(年2回) →1st:6月、義務出席 →2nd:11月後半-12月前半、リーダー陣が変わった場合 ・RLM
4	2015年度の年間計画	年間計画	2	吉田	年間予定の確認。(会議の最後にもう一度確認)	<ul style="list-style-type: none"> □2015年度予算計画(2014年度着地見直しをベースに作成) →減額: ・10周年/400万 ・CLM(RLM差額)/300万 →増額: ・プロモーション/150万 →Loopasの予算は65万のまま。岡田さんがLoopasMTGに参加し、熱いメッセージを伝える(実施時期:4月~) ・ベビーシッター/50万 ・パンフレット/100万(全て外注 窓口:つばさ) ・大学員進学会/100万 ・学生プロモーション/10万 ・就活イベント/50万 →2015年度予算額:max 32,000,000円 →2015年度実績見込み:25,000,000円 <p>■TODO →3月SkypeBMTGで2015年度の年間計画をFinalize【財務Section】</p>
5	2014年度予算の着地見直し	財務・予算	3	事務局、ジニア	2014年度の着地見直しから、来年度の予算大枠をつくる。	
6	来年度の予算の方針	財務・予算	3	ジニア	今期実績をもとに、来年度の大枠の方針を固める。決定までのスケジュールを確定	
7	ババママ制度の予算確保	財務・予算確保	4	吉田	予算の確保	
8	パンフレット作成費用	財務・予算確保	4	吉田	尾林くんからの見積もりを受けて議論	
9	RLMの費用	財務・予算確保	4	吉田	全体感を算出	
10	立ち寄り等がある際の旅費の原則	財務・制度	5	事務局	<p>イベントに校友会を校友負担で招聘する際、今までは原則がないためケースバイケースとなっていた。今回原則定め、2015年度より適用することとした。また、これは経理マニュアル、ほかに記載し、周知を図る。</p> <p>「自己都合でどこかに立ち寄る場合、旅費については用務に直接関わる旅程にかかるとのみ公費負担とする」</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこかに立ち寄ってから招聘地に来て、自宅に戻る場合 自宅—立ち寄り地(自己負担)→立ち寄り地—招聘地—自宅(公費負担) ・往復とどこかに立ち寄る場合 自宅—立ち寄り地A(自己負担)→立ち寄り地A—招聘地—立ち寄り地B(公費負担)→立ち寄り地B—自宅(自己負担) ・帰路にどこかに立ち寄る場合 自宅—招聘地—立ち寄り地(公費負担)→立ち寄り地—自宅(自己負担) 	<ul style="list-style-type: none"> □原則:立ち寄りなし。合理的なルートから外れた場合は支払わない。(実施時期:2015年度~) ※仕事、天災を除く
11	お祝い金・総会支援費用の方の選択制の件	財務・制度	5	ジニア	方針を議論	<p>■TODO 自由に使えるお金をどういふ名目で出すかを検討(状況を見て、3年後考える)【財務Section】</p>
12	学生団体への謝礼	財務・施策	6	吉田	謝礼の有無を検討	<p>■TODO 謝礼をお菓子にする【事務局】</p>
13	新ディレクターの評価基準について	体制	7	ミシェル	<ul style="list-style-type: none"> ■午後4時スタート(ミシェル・拓央Skype参加) 尾崎さんから提出される評価基準について検討 	<ul style="list-style-type: none"> □評価基準シート - 項目名修正 ・項目1(定性):Understands the role of director & board teams ・項目2(定量):現象2と同様 ・項目3(定量):現象3と同様 ・項目4(定量):Offers constructive suggestions and implement ideas(提言・実行できる) ・Detail欄をつける ・manager assessment→推薦委員会 assessmentに修正 <p>■TODO ・ミシェル・尾崎さんは評価項目を修正し、日本語版を作成。候補者に連絡。【ミシェル、尾崎さん】</p> <p>・新ディレクター9名の就任を提案【推薦委員会・拓央】→ポード内で投票</p> <p>7月、推薦委員会が候補者を評価し、ポードに推薦する【推薦委員会】</p>
14	ボードの体制と分掌	体制	7	吉田	<ul style="list-style-type: none"> ■午後4時スタート(ミシェル・拓央Skype参加) 3月7日の熊本Cのイベントに誰が行くか、も。 	<ul style="list-style-type: none"> □ポード体制見直し ・Assist teamの位置づけ:人材バンクのイメージ。Temporaryで発生するProjectへの対応。 ・Section設立に関して:(副代表の役割分担) 体制Section:コック 広報Section:ミシェル チャプターSection:拓央 ・ジニアの配属:アシストチームに属する。必要に応じて、岡田さんへサポート。 <p>■TODO 投票候補者へ打診【関さん、松野さん】【吉田】</p>
15	今後のスカイプガイダンスのあり方	チャプター	9	吉田	今回のやりかたはOフレンドリーだが、事務局・CFOの負担が大きいため、今後のあり方を検討する	<ul style="list-style-type: none"> □OLガイダンス 事務局のほうで4.5つの候補日を提示し、そのなかで決めてもらう。 □コンテンツ 8月: ・チャプターハンドブック ・経理処理マニュアル ・他の要望に関して、RLMで拾う
16	ウェルカムパーティーの実施時期を卒業式後から入学式後への変更	イベント	10	事務局	現在の卒業式後の実施では、参加者の数が少ないこと、友人等との話に夢中になり、校友会のメッセージが伝わりにくいこと、などの課題がある。一方入学式では、まだ学生たちも環境にも慣れていない意味での緊張感があり、メッセージが刺さりやすいこと、学生時代に校友会を意識する良いきっかけになること、上回生にとっても新入生とコミュニケーションをする機会となり、それを通じた上回生への校友会の認知度アップにもつながること、保護者の認知度もアップする可能性が高いこと、などから、入学式後の実施を検討したい。	<ul style="list-style-type: none"> □ウェルカムパーティーは入学式の後にする。(実行時期:2015年9月~(最遅)/2016年4月~) <p>■TODO 詳細を決める【広報Section】</p>
17	次回ポードミーティングの開催	MTG	11	こっか	開催日時と手段、開催地を決定(新ディレクターにも参加してもらう)	新Directorが3月のSkype BMTGに参加しない。また別途Kickoffの機会を設ける。
追加	熊本C発足式					吉田が参加予定。難しい場合、コックが出席。
追加	予算判断基準					<ul style="list-style-type: none"> ・全員参加できるイベントじゃないとNG ・個人に属するものはNG